

小児期の治療中断と再燃を経て社会人期に治療を再開した成人アトピーの経過 (22 歳 成人)

症例 ID：001-20-MY5 | 記録日：2016 年 8 月 23 日

1. 診断・治療前経過

7 歳頃に松本医院で治療を開始しましたが、煎じ薬や入浴を十分に続けられず、中学生頃に通院を中断しました。高校期には肘・膝裏と背中が悪化し、背中から浸出液が出ました。症状が一時的に落ち着いた後、大学卒業まで治療から離れていました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児期以降、ステロイドは使用していません。治療中断後は処方された外用薬のみを時折使用しました。
製品名	該当しません。
強度	該当しません。
使用期間	ステロイドの使用歴は確認できません。
中止時期	該当しません。
来院前／後	来院前後ともステロイド使用は確認できません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
7 歳頃	初回治療	煎じ薬、入浴、外用処置を開始しました。
中学生頃	治療中断	皮膚状態が改善したため、本人の希望で通院と内服を中断しました。
高校入学後	再燃	肘・膝裏、背中が悪化し、背中から浸出液が出ました。
高校期	一時治療	電話相談と薬の送付により一時的に症状が軽減しました。
大学期	治療離脱	医療機関を受診せず、松本医院からも離れていました。
社会人 1 年目	再燃・治療再開	上半身を中心に強いかゆみと浸出液が出て、本人の意思で治療を再開しました。
再開約 2 か月	経過中	ヘルペス症状を含め、皮膚状態は大きく改善しました。

4. ピーク時期

ピークは、高校期と社会人 1 年目に背中から浸出液が出て、肘・膝裏、肩、腹部、首など上半身を中心に強いかゆみが広がった時期です。

5. 困りごと

- 煎じ薬や入浴を小児期に継続することが難しく、治療中断を繰り返しました。
- 思春期には浸出液による衣類の汚れと人目が負担となりました。
- 社会人となった後のストレスとともに再燃しました。

6. 経過のまとめ

社会人期の再燃をきっかけに本人の意思で治療を再開し、約 2 か月で皮膚状態は大きく改善しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。